

# 第48期 中間報告書



2022年6月1日 ▶ 2022年11月30日

## Contents

トップインタビュー

第2四半期のセグメント別概況(連結)

2023年5月期業績見通し(連結)

Topics

シグマ光機の成長戦略

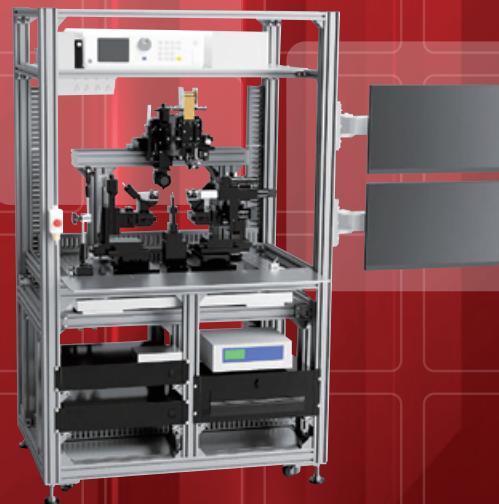
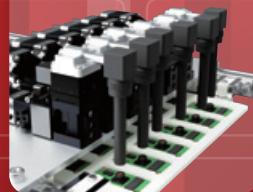
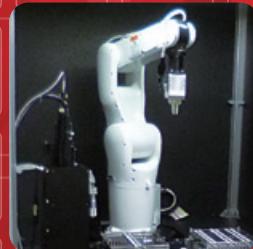
サステナビリティ活動

株主様アンケート結果のご報告

連結財務諸表

株式の状況/会社概要

Light Solutions for Life<sup>®</sup>  
光なら、きっとできる。



## 経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。



## 「感謝」「挑戦」「創出」

光技術を通じて、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

Q1 第48期（2023年5月期）上期の業績について、お聞かせください。

A1 先行き不透明感が増大する中、産業分野向けを中心に堅調に推移いたしました。

新型コロナウイルス感染症による影響から世界経済が回復に向かう中、地政学的なリスクが顕在化する等、景気の先行きは一段と不透明感が高まりました。そのような中、当社においては、半導体・電子部品等を中心とした産業分野向け需要の堅調な推移により、業績を伸ばすことができました。半導体、医療・バイオ・介護、宇宙、量子、AI・ロボティクス、エネルギー等、幅広い最先端分野から光技術が必要とされており、その範囲は年々広がっております。

Q2 通期の業績見通しについて、お聞かせください。

A2 堅調な需要環境が継続する中、重点戦略を実行し、持続成長を目指します。

通期における当社の需要環境は、引き続き最先端技術分野向け等を中心に堅調な推移を見込んでおります。一方、サプライチェーンの混乱による供給制約を背景に半導体不足及び原材料高騰が続いており、利益面での成長に対する事業環境は厳しさを増しております。変化の激しい事業環境の中、持続的な成長に向けて、「成長戦略を仕掛ける」、「既存事業の継続成長」という重点戦略を定めております。これらの重点戦略を強力に推進することで、通期業績目標を達成し、持続的な企業価値向上を実現してまいります。

Q3 中・長期ビジョンについて、お聞かせください。

A3 光技術で持続可能な社会に貢献してまいります。

私たちシグマ光機は、ブランド・ステートメントとして掲げる「Light Solutions for Life®」の下、光技術を活用して人々の暮らしを支え、健康や生命を守ることで、持続可能な社会の実現に貢献することを経営理念として掲げており、その社会的責任を果たすことが企業価値向上に向けた重要課題であると考えております。私たちは「光ソリューション・カンパニー」として、光技術の持つ可能性を一つひとつ実現することで、社会課題の解決及び社会貢献に積極的に取り組んでまいります。株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

シグマ光機株式会社

代表取締役社長 近藤 洋介

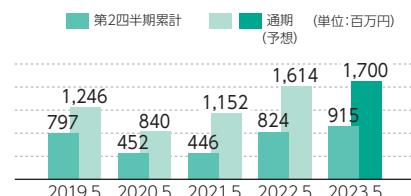
売上高 56億5千万円

(前年同期比 13.2%増)



経常利益 9億1千5百万円

(前年同期比 11.0%増)



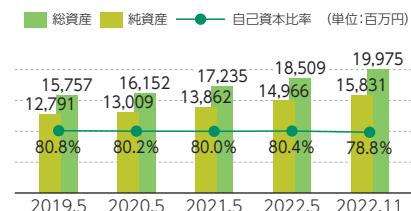
親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益 6億2千4百万円

(前年同期比 3.1%増)



総資産・純資産・自己資本比率



## 第2四半期のセグメント別概況（連結）

### ▶ 要素部品事業

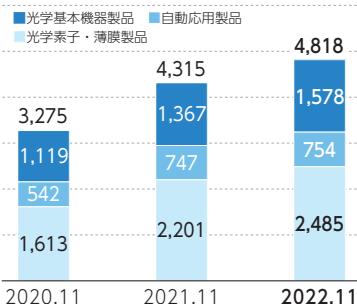
売上高



**11.7%増**

(前年同期比 5億3百万円増)

(単位：百万円)



### POINT

#### 産業分野向けが引き続き堅調に推移

大学・官公庁向けは横ばいで推移し、産業分野向けは堅調に推移いたしました。国内・アジア地域は、電子部品・半導体業界向けの光学基本機器製品や光学素子・薄膜製品が好調で推移いたしました。バイオ業界向け及び通信業界向けの自動応用製品は堅調に推移いたしました。米国地域、欧州地域ともに堅調に推移し、東南アジア地域は、回復基調で推移いたしました。

### ▶ システム製品事業

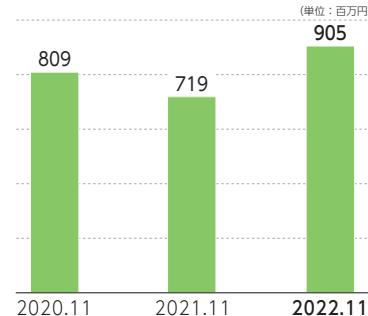
売上高



**25.8%増**

(前年同期比 1億8千6百万円増)

(単位：百万円)



### POINT

#### 一部の大口のお客様への納品が進み増収

エレクトロニクス分野を中心に総じて堅調に推移いたしました。フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザー加工機や検査装置向けの組込み用途の光学ユニット製品は横ばいで推移いたしました。一部の大口のお客様への納品が進み、大幅な増収となりました。また、電子部品・半導体業界向けは堅調に推移し、医療業界、防衛業界向けの需要は横ばいで推移いたしました。

## 2023年5月期業績見通し（連結）

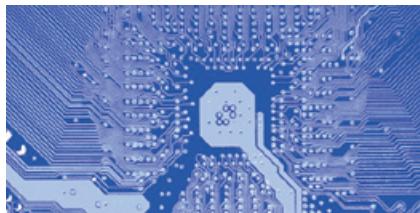
最先端技術分野を中心に堅調な需要を見込む一方、世界的な供給制約等による半導体不足や原材料高騰が続く等、利益面の成長の見通しは不透明感が高まっております。そのような中、新製品・新技術の開発、人材育成+IT活用、ウェブ展開&ブランディング等を全力で推進し、新市場・成長市場展開及び社会貢献活動にも積極的に取り組み、持続的な成長を図ってまいります。第48期中間配当は1株当たり20円とさせていただきます、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	配当額（通期累計）
<b>10,680</b> 百万円 (前期比 3.1%増)	<b>1,550</b> 百万円 (前期比 7.8%増)	<b>1,700</b> 百万円 (前期比 5.3%増)	<b>1,185</b> 百万円 (前期比 1.3%増)	<b>40</b> 円 配当性向(見通し) 23.9%

# Topics シグマ光機の成長戦略

当社は、持続的な企業価値向上に向けた事業活動を更に効率化及び加速させるべく、事業環境のメガトレンドを捉え、光技術が求められる最先端の事業領域から重点戦略を定め、事業活動を推進しています。

## ●メガトレンド（当社を取り巻く事業環境）



### 超微細化・高精細化

- 光技術による精密微細/複雑形状加工
- 超高精度・高分解能な測定・計測機器



### 高齢化・長寿化の時代

- 光技術での侵襲を伴わない医療機器
- 小型で簡単な可搬型の介護支援機器



### 宇宙開発の加速

- 耐環境性能の高い宇宙観測・計測装置
- 宇宙探査での光技術による分析装置



### 量子の時代

- 量子コンピューティングマシン
- 量子通信・量子ドットディスプレイ



### AI&ロボティクスの融合

- AI学習での高解像度観察・検査装置
- ロボティクス制御による作業自動化



### サステナビリティ

- 光技術によるエネルギーの多様性
- 人材育成・能力開発による持続的成長

## ●重点戦略

### 成長戦略を仕掛ける

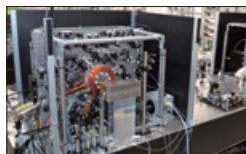
- ①新市場・成長市場向け展開強化
- ②生産性向上・生産体制強化
- ③社会貢献活動の推進等

### 既存事業の継続成長

- ①新製品・新技術開発力強化
- ②人材教育・人材育成+IT活用
- ③ウェブビジネス展開&ブランディング等

## ●取り組み例

光格子時計プロジェクト(量子)



AI搭載光学欠陥検査装置



DX化推進・生産性向上



独自社内研修システム



企業ブランディング



©香取秀俊2015

## サステナビリティ活動

当社は、すべてのステークホルダーから信頼され、ともに発展することを目指して、サステナビリティ活動に取り組んでいます。

### ●脱炭素社会への対応

当社は、脱炭素社会を実現するために、事業活動のあらゆる段階においてCO<sub>2</sub>排出量の削減への取り組みを進めています。既設の太陽光発電の活用他、ポータブル蓄電池の備蓄、小型風力発電の開発・導入や会社保有車両の台数低減等を進めています。



### ●次世代育成支援（発展途上国の教育支援活動）

当社は、モンゴル国の教育支援活動の一環として、2018年から同国大学の光技術講座開設の支援活動等、教育分野の発展に貢献しています。また、未来を担う子どもたちの教育支援に向けて、当社能登工場の所在する石川県志賀町と連携し、2022年12月にモンゴル国の保育関係者からの保育施設の視察を受け入れました。



モンゴル国厚生労働省からの感謝状

## 株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第47期報告書で実施したアンケートは、当社の全株主様5,166名（2022年5月31日時点）の約3%に相当する148名の株主様からご回答いただきました。皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

### 株主様からのご質問

Q バイオ、医療向けの今後の展開について教えてください。

A 当社は、「Light Solutions for Life<sup>®</sup>」というブランド・ステートメントの下、人々の健康やのちに貢献すべく、バイオ・医療業界にも積極的に事業を展開しております。バイオ向けでは、幅広い研究者にご利用いただける品質・コスト・納期に対応した高性能観察システムの開発・市場投入に、医療業界向けでは、医療従事者及び患者様の使い易さを追求した、手軽でコンパクトな可搬型の医療機器製品群の開発・市場投入に取り組んでおります。社会が求める新製品・新技術の早期市場投入を進め、持続的な企業価値向上にまい進してまいります。

Q 量子関連の取り組みについて教えてください。

A 量子分野は、量子コンピューティングや量子通信等による、大きな技術革新により巨大な市場の形成が期待されます。量子技術の活用では、高精度な時間測定や精密な位置制御等が求められており、光技術の活躍の場が広がっております。当社は、世界の量子コンピューティング・量子通信分野の研究者へ光学部品や光学モジュール・ユニット、アライメントシステムを供給しております。また、世界最高レベルの超高精度の時間測定を行う「光格子時計」開発の国家プロジェクト等にも参画しており、来たる量子の時代に必要となる技術・製品の創出を強力に進めております。

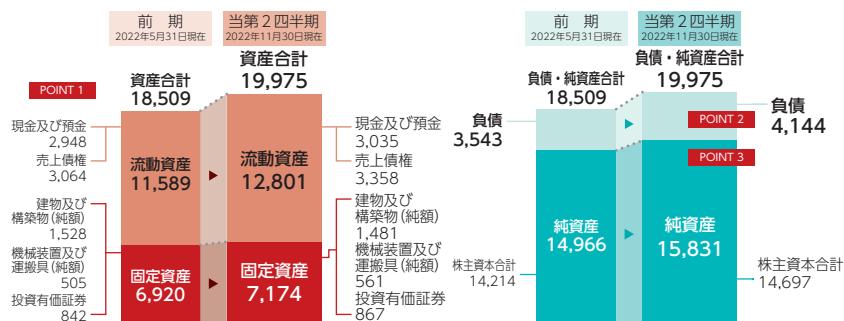
### 株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- これから成長ステージにあると思うので、大きく飛躍してください。
- 光科学分野の人材育成に注目しました。
- コロナ収束後、東京での個人投資家向け会社説明会や事業所見学会等を実施して欲しい。
- 光技術というものを知る、理解することが貴社を通じてできたことが個人的にもとても有益でした。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



### POINT 1

#### 資産の変動

流動資産は、受取手形及び売掛金、有価証券、商品及び製品がそれぞれ増加したこと等により前期末比で10.5%増加しました。固定資産は、当社の新工場機建設に係る建設仮勘定、リース資産がそれぞれ増加し、建物及び構築物が減少したこと等により前期末比で3.7%増加しました。

### POINT 2

#### 負債の変動

流動負債は、短期借入金、支払手形及び買掛金がそれぞれ増加し、電子記録債務が減少したこと等により前期末比で20.4%増加しました。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末比で8.4%増加しました。

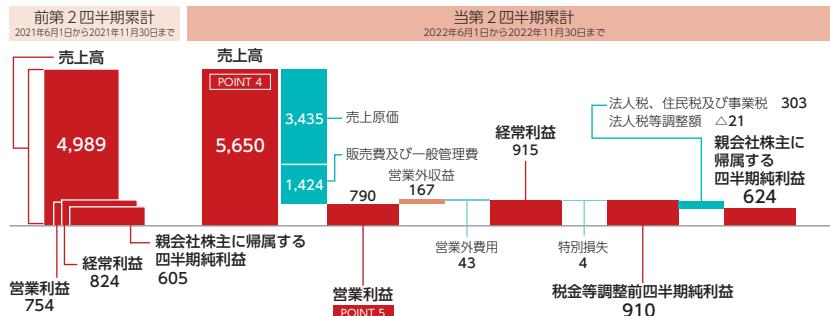
### POINT 3

#### 純資産の変動

純資産は、前期末比で5.8%増加しました。また、自己資本比率は78.8%となりました。

## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



### POINT 4

#### 売上高の動き

売上高は、前年同期比で13.2%増加となりました。世界各国で感染対策と経済活動の両立が進み、総じて回復基調で推移しました。国内・アジア地域は半導体・電子部品向け等の需要が好調に推移し、米国地域及び欧州地域の需要もともに堅調に推移しました。また、東南アジア地域は回復基調で推移しました。

### POINT 5

#### 営業利益の動き

営業利益は、期初業績予想に対しては下回りました。世界的な供給制約等により材料費が増加した他、人件費、広告宣伝費、試験研究費等が増加しましたが、増収による利益増加と販管費率の抑制等の結果、前年同期比では4.7%増加しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



### POINT 6

#### キャッシュ・フローの状況

営業CFは、棚卸資産の増加、法人税等の支払等により減少しましたが、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加等による増加があり、資金を獲得しました。投資CFは、有形固定資産の取得による支出等で減少したことにより、資金を使用しました。財務FCは、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により減少しましたが、短期及び長期借入による収入等による増加があり、資金を獲得しました。



# 株式の状況／会社概要

## 株式の状況 (2022年11月30日現在)

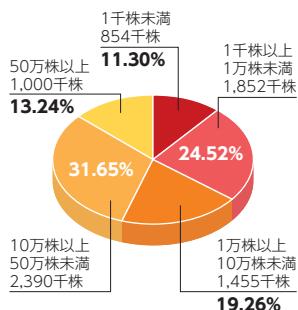
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	7,552,628株
株主数	5,193名 (前期末比27名増)

### 主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	456	6.45
株式会社ツシマ	215	3.04
シグマ光機従業員持株会	210	2.96
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	166	2.34
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
杉山 大樹	110	1.56
株式会社三井住友銀行	110	1.55

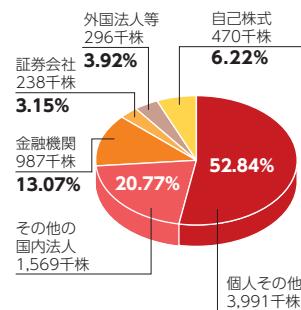
- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。  
 3. 持株比率は、自己株式(470,450株)を控除して計算しております。

### 所有株数別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。  
 3. 自己株式(470,450株)を含んでおります。

### 所有者別株式分布状況



## 会社概要 (2022年11月30日現在)

社名	シグマ光機株式会社
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設立	1977年(昭和52年)4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	349名
役員	代表取締役社長 近藤 洋介 取締役 中村 良二 取締役 多幡 能徳 取締役(社外) 小澤 勉 取締役(社外) 野崎 誠 取締役(社外) 松尾 祐美子 常勤監査役(社外) 上野 健司 監査役(社外) 南 雲 幸一 監査役(社外) 熊崎 美杉

- (注) 1. 社外取締役 野崎誠氏及び松尾祐美子氏、  
 社外監査役 上野健司氏及び熊崎美杉氏の  
 4氏は独立役員であります。  
 2. 取締役 中村良二氏は、一身上の都合により  
 2023年1月20日付で当社取締役を辞任いた  
 しました。

### ❖ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

### ❖ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

### 当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮しております。



## 株主メモ

**事業年度** 毎年6月1日から翌年5月31日まで  
**定時株主総会** 毎年8月開催  
**基準日** 定時株主総会 毎年5月31日  
期末配当金 毎年5月31日  
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

**単元株式数** 100株  
**公告方法** 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
**電子公告URL** <https://www.sigma-koki.com/>

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
**事務取扱場所** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
**(郵便物送付先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)**  **0120-782-031** (通話料無料)  
**(インターネット ホームページURL)**  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社(特別口座といます)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

### 〈特別口座に関するご照会先〉

**(特別口座 口座管理機関)** みずほ信託銀行株式会社  
**(郵便物送付先)** 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
**(電話照会先)**  **0120-288-324** (通話料無料)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます。

\*なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7713

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り→  
QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



本アンケートは、株式会社「リンクコーポレートコミュニケーションズ」の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)



シグマ光機株式会社

東京本社 東京都墨田区緑1-19-9  
TEL.03-5638-8221 (総務部)

